



令和5年を迎えて

津市身障者福祉連合会

会長 片岡福生

平素は、何かと津市身障者福祉連合会の活動に、ご支援ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年1年間は、新型コロナウイルス感染に悩まされ、事業も、会員同士の交流もあまり実施することが出来ず、新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わった一年でした。事業が開催されないことは、大変辛いことではありますが、これも会員皆様の安全第一を考えれば、仕方がないことであります。

しかし、すべての事業を中止すれば、今後の会の運営にも影響することを考え、無理のない程度に、コロナ禍の低い時を狙って、事業を少し開催しました。

昨年は、津市白山町しらさぎホールに於いて「第68回三重県身体障害者福祉大会」が開催されました。おかげさまで津市身障者福祉連合会の皆様、津市行政、津市社会福祉協議会の方々、ボランティア、地元企業の方々のご支援で大きな事故もなく、無事に終わることが出来ました。心より感謝申し上げます。

今後の津市身障者福祉連合会の活動ですが、会員の減少、高齢化、という問題を抱えながら活動しなければなりません。知恵を出し合い、全員で協力し、新しい活動にも挑戦しながら、津市身障者福祉連合会の活動を、続けていきたいと考えております。

コロナ禍もまだまだ終息の見通しが立っておりませんが、安全第一に考え、無理をせず、前向きに進んで行きたいと考えております。終わりに会員の皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、ご挨拶いたします。

第 18 回津市身障者福祉連合会総会

令和4年5月14日 津市芸濃総合支所 大会議室

午前9時30分、山内副会長の開会の辞があり、続いて片岡会長の挨拶がありました。会長からは、コロナの蔓延で、各種行事の中止が、続きましたが、コロナの感染もやや落ち着きましたので、本年度は、潮干狩りを実施することにしました。3月に発行した、広報誌「きぼう」を民生児童委員全員に配布して、障がい者福祉会の存在と現状について理解を深めていただくようお願いをしました。とのお話がありました。

今回、来賓は招待しませんでした。国会議員、津市長、県議会議長などから、多数のメッセージが寄せられました。

今回は、司会の担当支部が、白山町となりましたので、白山支部長が行いました。議長には、津支部の中島氏が選出され、総会の書記、議事録署名者が議長より提案されて賛成多数で、承認されました。

評議員は、コロナ感染予防対策の密を避けるため、各支部より3名（理事を含む）宛、10支部で計30名で、実施されました。

事業報告は副会長、会計報告は、事務局兼会計担当理事、監査報告は、白山支部、長谷川氏によりなされました。

令和4年度事業計画（案）は、副会長より提案があり、予算（案）は会計担当理事より提案され、いずれも賛成多数で、可決成立致しました。

12時、総会は、無事、終了いたしました。

潮干狩り交流会

令和4年5月31日 香良洲海岸 なお屋

今回、津身連の事業の潮干狩り交流会が、久しぶりに開催されました。小雨がぱらつく曇り空でしたが、各支部とも福祉課に、手配して頂いた、マイクロバスや乗用車で参加され、総勢約100名でした。

交流会は、10時過ぎより始まりました。会長の挨拶、ボランティアの紹介、スポレク委員長から本日の行事内容、注意事項（海岸に出る時は必ず2～3人で行動すること）などが説明されました。

10時30分～ 潮干狩り開始

12時～12時30分 昼 食

12時30分～13時 ビンゴゲーム

海岸で、ここちよい潮風に、身をさらし、次々と打ち寄せる波、砂の感触など、ずいぶん心が癒されました。貝は、あまり取れなかったが、中にはバカ貝、ハマグリなどたくさん取っている人も見えました。

昼食は例年どうり、貝の味ご飯、貝汁で、今回はサービスで、青さ汁を付けていただきました。潮風に吹かれながら、皆で食べる食事は、大変美味しかったです。

久しぶりの各地区会員の方々との交流は、大変有意義で、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最後にビンゴゲームを行い、それぞれに賞品を手にして、お土産の貝も、いただき予定よりもやや遅れて、13時30分頃、香良洲海岸を後に、帰路につきました。



ボッチャ教室に参加して

令和4年6月21日 一志町体育館

パラリンピック東京大会の中継を見て、一度やってみたいと思っていた競技でした。決められたコート内で、ジャックボールという目標となる白いボールに、赤・青それぞれ、6球ずつのカラーボールをいかに近づけるかを競い合います。

ボールを投げたり、転がしたりしながら、ジャックボールの近くを狙います。わずかな時間でしたが、スポーツ指導者の皆さんの本当に親切で丁寧なご指導のおかげで、ルールもわかり易くて、練習も試合も楽しく過ごす事が出来ました。今日、参加出来なかった皆さんに「絶対好きになれる競技ですよ。」と胸を張って言いたいと思います。なぜ、こう言い切れるのかよくよく考えてみると、それはボールの何とも言えない柔らかさ（やさしさ）にあると思い至りました。持った時に手になじむ柔らかさ、柔らかく床を転がるように、柔らかくボールに当たり、それでも力強く外へ押し出す様子が、心を安らかに、それでいて勝ち負けも穏やかに、与えてくれることが、私が一回でボッチャを好きになった理由です。

参考までに、指導員さんの説明の一部を紹介します。

一般のスポーツを障害者が出来るように改良した、これまでのスポーツと違って、ボッチャは、重度脳性麻痺者、もしくは、同程度の四肢重度機能障害者のために、ヨーロッパで考案されたスポーツです。障害のために投げることが出来なくても、ランプスという勾配のある投球道具を使って競技に参加することが出来ます。介助者が付き、競技者の指示どおり高さや、傾き、方向などを調整し、競技者が出来ないことを補います。

初心者も楽しめる競技ですが、当然のことながら選手たちは「技術、戦術、また相手とのかけひき等に奥深いものがあり、最後まで結果がわからない優れたスポーツです。」と話しておられました。

久居支部 青木 誠



津身連グラウンドゴルフ教室

令和4年10月25日 津市白山運動場

穏やかな晴天のもと、津身連主催のグラウンドゴルフ教室が午前10時より開催されました。

スポレク委員の前川さんが司会を務められ、会長挨拶、スポレク委員長長の挨拶に続き、ルールの説明がありました。参加者は総勢32名でした。

抽選により、グループ分けが行われ、1チーム4～5名で、7チームで2回競技が行われました。今回は、順位は付けずに、賞品も出さず、お互いの交流を深めるための、試合でした。

久しぶりの行事で、天候にも恵まれ、心身ともにリフレッシュした1日でした。

津身連体育大会

令和4年10月29日(土) 津市白山体育館

何年ぶりかな? 3年? 家の中から外へ出られる喜びが会員の皆様にも、お有りだったと思います。表紙の言葉に「楽しく参加 心と体のリフレッシュ」とあります。

紅白玉入れ、ハトポップ、さいころ転がし、風船運びと、あわてないでいいよと、声援を送ってもらい、ゴールまで走れた満足感、何もかも忘れて、私も走った。天気も秋晴れ、心もスカットしました。

福祉課、社協、ボランティア団体の皆様、早朝より会場の設営にご協力頂き、誠に有難うございました。きびきびした動作、やはり若い方はいいなと、感じました。

ハトポップ 大豆一つが 取りずらく 昔はもっと 楽につかめた

津支部 森本豊子



津身連県外研修

令和4年11月14日滋賀県 琵琶湖方面

8時 一志総合支所、8時40分 芸濃総合支所に集合して、参加者総数30名で出発しました。今回は、全国旅行支援により旅行代金の40%がカットの対象となっております。但し、参加者は、ワクチン3回以上の接種証明書と身分証明書(障害者手帳又は、自動車運転免許証)の確認が必要で、一人でも欠けると、支援金は受けられないと云う事でした。

芸濃インターから高速道路を利用して、土山SAで休憩、その後大津ICで降りて琵琶湖汽船「ミシガン」に乗船、11時~12時30分まで90分間、琵琶湖を周遊しました。

コロナ感染防止の関係で、昼食は11時30分からと、13時30分からの2回に分けられており、私達は、後の13時30分から、大津プリンスホテルの37階で、バイキング料理を頂きました。

高層ホテルから下を見渡すと、琵琶湖の両岸が一望に眺められ、雄大な景観に心が打たれました。

大津を離れ信楽陶苑「ためき村」で素焼きの容器に絵付けをする研修をしました。

顔料を浸した筆で、絵を容器に描くのですが、顔料はすぐに焼き物に浸透してしまい、修正が出来なくて難しい。筆もあまり良いものでは無かった。初めての体験でした。作品は再度窯で焼き、送って頂けるとの事でした。

本日の研修旅行は、これで終わり、朝来たルートで、帰路につきました。



第68回三重県身体障害者福祉大会

令和4年11月27日 白山総合文化センター

本年度は、津市が開催地に指名されて居りましたので、県身体障害者福祉大会が白山町文化センターで
来賓の皆様、各支部会員の出席のもと盛大に開催されました。

会長表彰では、自立更生者1名 団体育成功労者11名、奉仕活動功労者6名、更生援護功労者1名の合
計19名の方々が受賞されました。

会場は三重県内から約300名（内、津市は80名）の方々が参加され、長引くコロナ禍の中、間隔を置
いて着席して頂きました。

津市は、団体育成功労者として、5名の方が受賞されました。（敬称略）

長谷川吉信（白山支部）会計・地区役員・本部会計監査担当

渡邊 克己（美里支部）前理事・前副会長

平井 克昌（美里支部）理事・本部事務局担当

洋谷 昭子（津 支部）前理事・前支部長

福島 月子（香良洲支部）理事・支部長・本部視覚専門部担当

代表として、長谷川吉信さんが表彰状を受け取られました。

スローガン（案）は

＊地域活動を活発に展開し、県及び市町障害者団体の組織強化を図ろう

＊心のバリアフリーを、地域社会に根づかせよう

でした。拍手多数で、採択されました。

次期開催地は、紀北町に決まり、会長の挨拶がありました。

アトラクションは、郷土芸能【美杉連山のろし太鼓】と【分部町唐人踊り】が披露されました。広い舞台
全体を使つての演技は、素晴らしく、心打たれました。

香良洲支部長 福島月子



福祉とは「ふ」だんの・「く」らしを・「し」あわせに

福祉とは「ふ」だんの・「く」らしを・「し」あわせに、の 文字をつなぐと「ふくし」になります。社会保障と住民相互による助け合い、支え合い、思いやる心の育成を住民主体で行う福祉活動が求められています。自分の幸せは、自分だけのものではなく、みんなと創っていくものです。みんなが幸せであることが自分も幸せな状態になるよう、共に手を携えていくことが大切とされています。

日本は1945年に第二次世界大戦が敗戦しました。1946年日本国憲法制定により憲法に福祉が位置づけられたことで福祉関連の法律が整備され、福祉三法（生活保護法・児童福祉法・身体障害者福祉法）が制定され現在は福祉六法です。福祉三法の一つ身体障害者福祉法は1949年に戦争で身体に障害を負った傷痍軍人の救済するために制定されました。2000年に社会福祉事業法が社会福祉法に改正されて「契約制度」が導入されました。これまでは「措置制度」で、あなたはこの施設に入所しなさいとか、この福祉サービスを利用しなさいとか、行政が決めていたのが、利用者が福祉サービス事業者を選んで契約する制度になりました。

また、福祉には、「社会福祉」と「地域福祉」があります。

社会福祉とは、社会が幸せであることという意味と、低所得・疾病・傷害・高齢などの困難な状況に陥っている社会の構成員に対して行われる社会的な支援・援助の意味があります。後者の意味の社会福祉では、生きる権利・生存権を守るために、主に政府が主体となって税などを通じて国民の所得を再分配し、社会的に恵まれていない人に支援を行い、最低限度の生活を保障します。

地域福祉の課題は、①家庭の相互扶助機能の低下。②地域住民の社会的なつながりの希薄化。③少子高齢社会の到来、成長型社会の終焉。④年金・医療・介護問題。⑤生活不安とストレスの増大、虐待、ひきこもり、世代間交流。⑥家族形態の変化、複雑化の問題。⑦児童・青少年問題。⑧自給持続や国際社会の中の日本。⑨国際化と多文化（異文化）共生。⑩環境破壊・温暖化等があるとされています。

問題解決のために、行政や社協、地区の一部の役員だけに“おまかせ”ではなく、自分たちでできることは、住民自らも動く「受身」から「推進役」への進化が求められています。法的には地域福祉は、社会福祉法に「地域における社会福祉」と定められており、「地域に暮らす全ての人々が幸せに暮らせるように努めることである」と言えます。高齢、障害、その他様々な事情から福祉サービスが必要となっても、これまで作り上げてきた家族、友人等との関係を保ち、社会や経済、文化などあらゆる分野の活動に参加できることで、誰もが自分らしく、誇りをもって、街の一員として自立した生活が送れるような「地域社会」をつくっていくことです。一人ひとりが住み慣れた地域で「安心して暮らせることが目標です。

人は、生まれたときから誰かの手を借りて成長してきている。大人になっても互いに助け合いながら日々の生活を送っている。つまり、「支援が必要な場合、きちんとその支援を求めることができる力」が「自立」、「生活の質」を高めることが「自立」です。

美里支部 平井 克昌

TOPIC

三重県身障者スポーツウエルネス吹き矢協会が「地域スポーツ推進優良団体」に選ばれ9月10日三重県人権センターで行われた表彰式で、一見勝之知事より表彰状を授与されました。同協会が独自の大会や教室などを開催し、競技の普及啓発を図る中で、障害のある方が生きがいを感じられる場づくりに、積極的に取り組んでいることなどの、功労が評価されての表彰です。山尾勝征氏（河芸支部長）は、初代会長として、吹き矢の普及に尽力されました。



津身連会員句集

俳句

障子越し カーテンの影 朝の居間
思い立ち 冬装束で 散歩する
八十路過ぎ 姉弟揃い 京の庭

居眠りの 肩が取り持つ 旅の友
畑仕事 足腰劳わる 老い二人

アマビエに コロナ退散 願う今
肩組んで 風船運ぶ 意気が合う
秋晴れの グランドゴルフ 球を追う

満開の 蠟梅の花 香り立つ
玄関に ひと際映える 君子蘭
生き生きと 麦の若芽が 寒空に

年老いて 互いに劳わる 夫婦旅

秋深し 皇帝ダリア 乱れ咲き
体育祭 交わす言葉も 久しぶり
フット吹く 勢い強く 的目掛け

白山支部 中山 恭一

白山支部 九里 邦雄

一志支部 小林 肇子

芸濃支部 中村 妙子

川柳

冬来ても 寒さ知らずの 肉襦袢 夏来ても 脱ぐこと出来ず 肉襦袢

買い物は 自動車やめて 足使う 籠らずに 仲間集めて 笑いあう

津市 福井とし子

白山支部 中山 恭一

短歌

卒寿の恋 心ときめく 夢のなか ハット目覚める 婆さんの声

ハトポツポ 大豆一つが 取りずらく 昔はもっと 楽につかめた
くっついて 肩を寄せ合い 準備する 風船運び 落とさないでね

白山支部 九里 邦雄

津支部 森本 豊子

本年度より広報誌に俳句（川柳）短歌などの応募を呼びかけて、津身連会員句集として掲載する事にしました。堅苦しい作法にこだわらず自由に思いのままの作品を投稿して頂ければ良いかと思ひます。高齢化に伴う認知症の予防にもなると思ひますので、多くの方に参加をして頂ければ幸いです。投稿はハガキで3句ほど纏めて、下記まで送付して頂きたく、お願いいたします。

送付先 〒515-2603

津市白山町川口1287-1 中山恭一

津市身障者福祉連合会

会 員 募 集

私達会員は、お互いに、身体の障害を乗り越えて、助け合い、励まし合って生きております。また、会の行事を通して、交流と親睦を図っております。身体障害者手帳をお持ちの方は、是非とも会員になって戴き、福祉会の発展と、福祉の向上に、ご協力頂きますようお願い致します。

会費 一人 年間 1,000 円

年間行事の内容

軽スポーツ

グランドゴルフ・ボーリング・カローリング・体育大会等

研修旅行（視察研修会）

年間に1～2回（日帰り）バス旅行（リフトバス使用）

交流会

潮干狩り・カラオケ・いちご狩り

県主催行事への参加

自動車安全運転競技会・防災訓練・障がい者芸術文化祭 等

入会の申込み、ご質問先

津市身障者福祉連合会

事務局 〒514-0831 津市本町 35-3 ふれあい会館 電話 059-223-2085

津市社会福祉協議会

地域福祉課	電話	059-213-7111	久居支部	電話	059-256-1202
河芸支部	電話	059-245-8888	芸濃支部	電話	059-265-4531
美里支部	電話	059-279-3366	安濃支部	電話	059-268-5804
香良洲支部	電話	059-292-7711	一志支部	電話	059-295-0066
白山支部	電話	059-262-7029	美杉支部	電話	059-274-0023



国司の庭園 美杉 谷戸良行



惜しむ秋
河芸支部 山尾勝征

津身連写真友の会



病魔退散 一志支部 小島延行



夫婦杉 美杉 谷戸良行



郷土の芸能
白山支部 渡邊孝志

本年より津身連写真友の会を発足致しました。
毎年年末にまとめて広報誌で発表致しますので、御応募ください。写真は、L版でお気に入りの二枚とします。



秋盛り
河芸支部 山尾すみ子



珍客来訪 一志支部 小島延行